

令和 5 年 7 月 26 日

お客さま各位

両備信用組合

2023年3月期ディスクロージャー誌の注記事項の追記について

日頃は格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございます。

さて、2023年3月期ディスクロージャー誌におきまして、注記事項に記載漏れがありましたので、下記の通り追記させていただきます。ご迷惑をおかけいたしました但、今後ともよろしく願ひいたします。

<追記箇所> 「2023 リョーシンレポート」 P37 財務諸表 損益計算書の注記事項

追 記 前
P37 損益計算書の注記事項 1. 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。なお、以下の注記については、表示単位を切り捨てて表示しております。 2. 出資 1 口当たりの当期純利益 58 円 10 銭
↓
追 記 後
P37 損益計算書の注記事項 1. 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。なお、以下の注記については、表示単位を切り捨てて表示しております。 2. 出資 1 口当たりの当期純利益 58 円 10 銭 3. 企業会計基準第 29 号「収益認識に関する会計基準」（令和 2 年 3 月 31 日）に基づく顧客との契約から生じる収益の金額は、他の収益と区分表示しておりません。当事業年度における顧客との契約から生じる収益の金額は、125,989 千円であります。 4. 収益を理解するための基礎となる情報は、貸借対照表の注記において、重要な会計方針とあわせて注記しております。 5. 当組合は、地区内の営業用店舗 1 件の土地建物等について、減損損失として特別損失（70,099 千円）に計上しております。この営業用店舗は、市場価額の下落により、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失としております。この減損損失のうち、土地に係るものは 57,645 千円、事業用建物に係るものは 10,855 千円、その他の有形固定資産に係るものは 1,449 千円、その他の無形固定資産に係るものは 149 千円であります。当組合資産の回収可能価額は、正味売却価額により測定しております。土地については、路線価をもとに正味売却価額を算定しており、その他の資産については、備忘価額をもって評価しております。